

11 景観

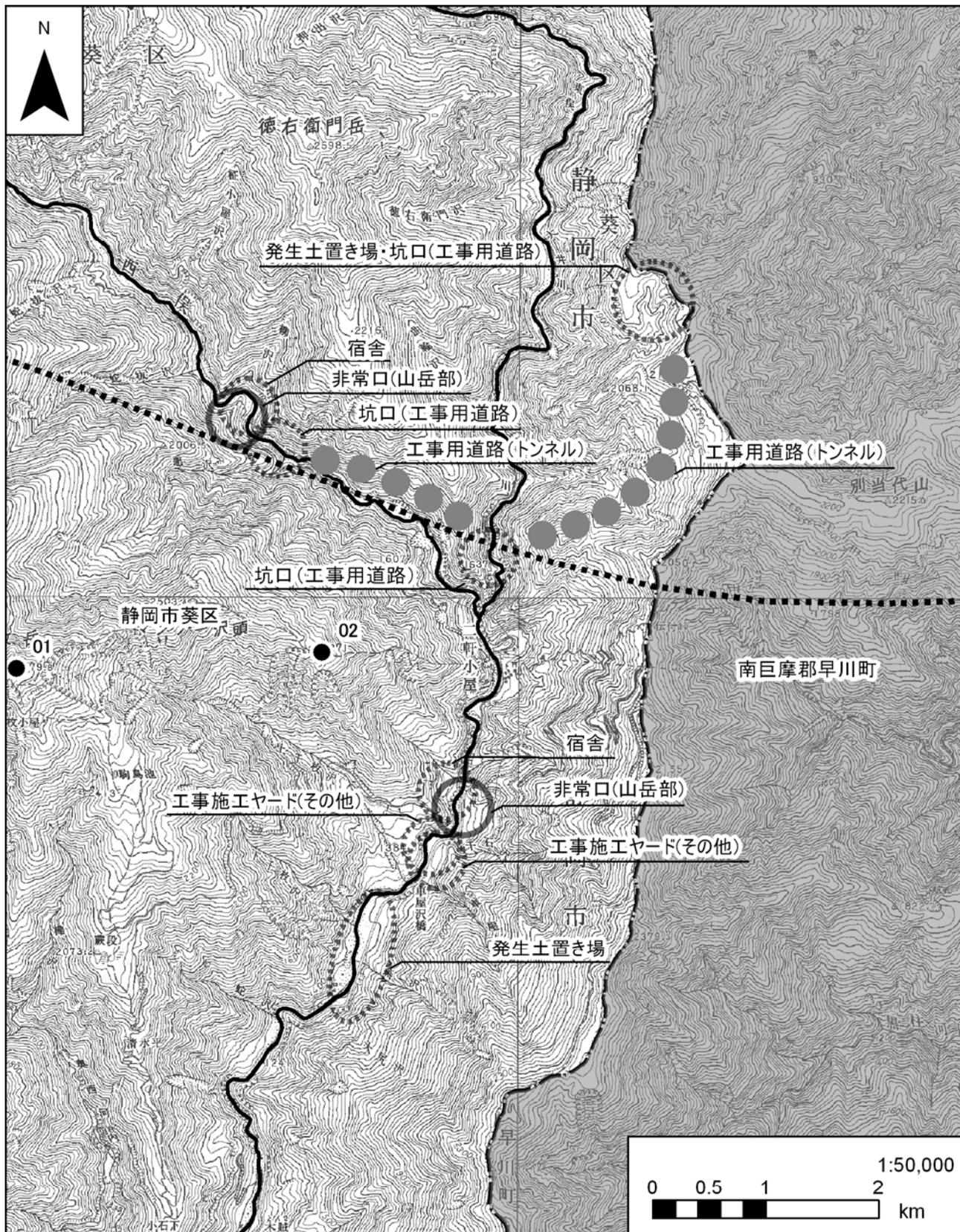
11-1 発生土置き場におけるフォトモンタージュ法を用いた予測について（参考）

「本編 8-5-1 景観」に記載したとおり、工事中の景観については、南アルプスの地域特性を踏まえ、環境影響評価項目とし、発生土置き場についても予測評価対象とした。

予測においては「国土交通省令の参考手法」をはじめ、「道路環境影響評価の技術手法（財団法人 道路環境研究所）」といった環境影響評価に関する文献で紹介されている手法や、他の環境影響評価事例を参考に、主要な眺望点及び景観資源と工事施工ヤード及び工事用道路の設置区域を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置及び程度を把握しており、評価書に用いた予測手法は適切であると考えている。

しかしながら、当該地域がエコパークの登録を目指す地域であること、また、発生土置き場が将来にわたって存続すると考えられることから、参考として、比較的改変区域が大きい扇沢発生土置き場及び燕沢発生土置き場を視対象として、図 11-1-1 に示す地点 01 及び地点 02 と、登山ルートから発生土置き場に最も接近して視認できる中ノ宿吊橋を眺望点とした地点 03、地点 04 及び地点 05 において、発生土置き場を眺望した場合の工事完了後の景観をフォトモンタージュ法を用いて予測し、評価することとした。

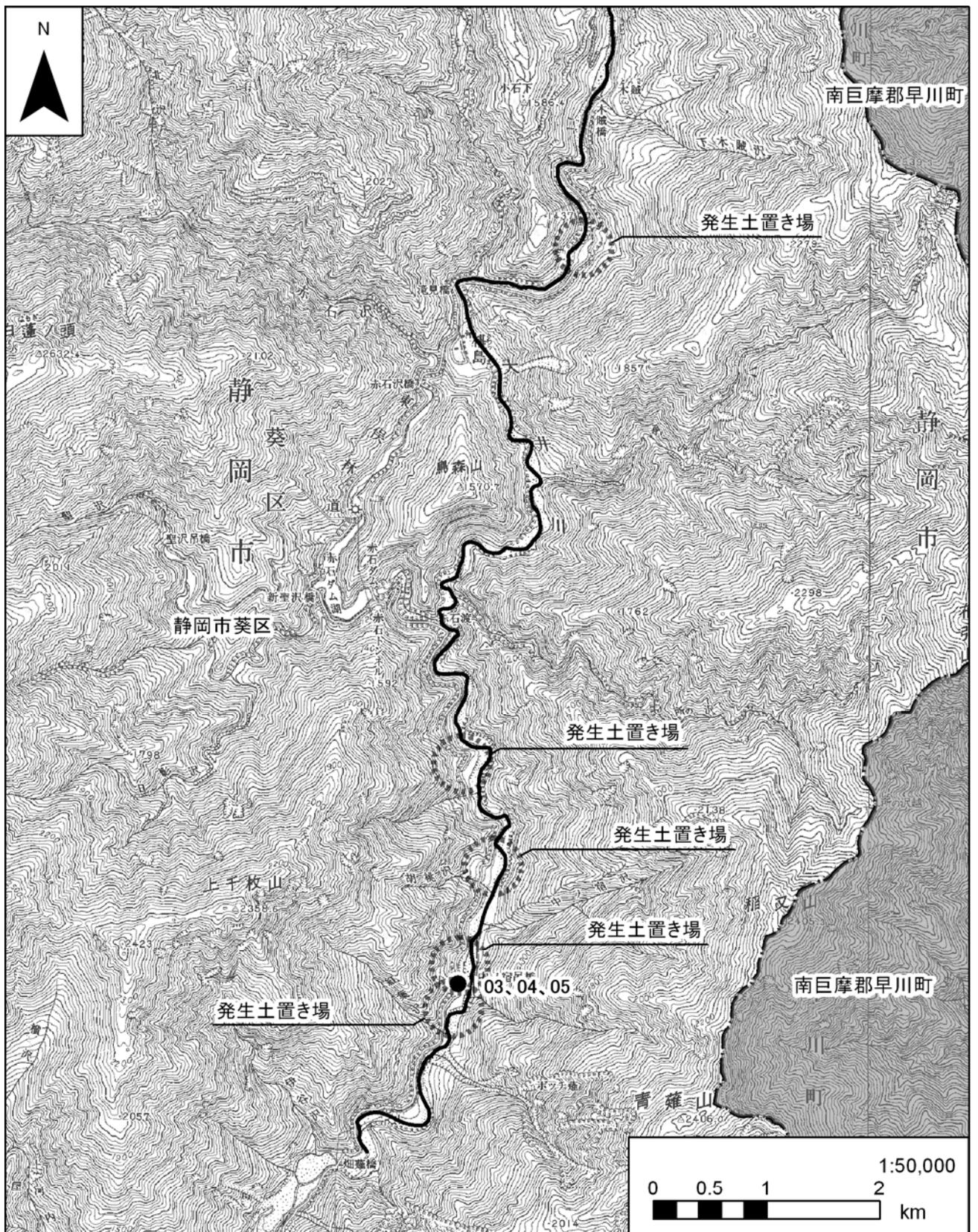
眺望景観の変化の予測結果を表 11-1-1 及び図 11-1-2 に示す。



凡例

- ■ ■ 計画路線(トンネル部)
- 県境
- - - 市区町村境
- 予測地点
- 景観資源

図 11-1-1(1) 眺望景観の変化の予測地点



凡例

- ■ ■ 計画路線(トンネル部) ● 予測地点
- 県境 — 景観資源
- 市区町村境

図 11-1-1(2) 眺望景観の変化の予測地点

表 11-1-1(1) 眺望景観の変化の予測結果

地点 01	千枚岳山頂付近
景観資源	—
撮影条件	<p>撮影日：平成 25 年 10 月 天候：晴れ 使用カメラ：CANON EOS Kiss Digital X レンズ焦点距離：21.9mm 35mm フィルム換算焦点距離：35mm</p>
予測結果	<p>本眺望景観は、千枚岳山頂付近から東方向を眺望しており、南アルプス山系等を視認できる。</p> <p>完成後は、発生土置き場が遠景として視認できるものの、目立ちにくく、圧迫感やスカイラインの切断はない。また、景観資源である富士山と同時に視認できないことから、眺望景観の変化はない。また、のり面等の緑化を行うことで、周囲の山林に溶け込んだ景観になると予測する。</p>

現況



完成後のイメージ



図 11-1-2(1) 眺望景観の変化の予測結果

表 11-1-1 (2) 眺望景観の変化の予測結果

地点 02	登山ルート 二軒小屋北吊橋～千枚岳方面
景観資源	大井川上流
撮影条件	撮影日：平成 24 年 8 月 天候：晴れ 使用カメラ：CANON EOS Kiss Digital X レンズ焦点距離：21.9mm 35mm フィルム換算焦点距離：35mm
予測結果	<p>本眺望景観は、マンロー沢頭付近から南方向を眺望しており、大井川上流及び南アルプス山系等を視認できる。</p> <p>完成後は、発生土置き場が中景として視認されるものの、目立ちにくく、圧迫感やスカイラインの切断はない。また、のり面等の緑化を行うことで、周囲の山林に溶け込んだ景観になると予測する。</p>

現況



完成後のイメージ



図 11-1-2(2) 眺望景観の変化の予測結果

表 11-1-1(3) 眺望景観の変化の予測結果

地点 03	登山ルート 中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面-北方向
景観資源	大井川上流
撮影条件	撮影日：平成 24 年 8 月 天候：晴れ 使用カメラ：CANON EOS Kiss Digital X レンズ焦点距離：21.9mm 35mm フィルム換算焦点距離：35mm
予測結果	<p>本眺望景観は、中ノ宿吊橋から北方向を眺望しており、大井川上流及び山林の斜面の樹木等を視認できる。</p> <p>完成後は、発生土置き場が中景として視認されるものの、圧迫感やスカイラインの切断はない。また、のり面等の緑化を行うことで、周囲の山林に溶け込んだ景観になると予測する。</p>

現況



完成後のイメージ



図 11-1-2(3) 眺望景観の変化の予測結果

表 11-1-1(4) 眺望景観の変化の予測結果

地点 04	登山ルート 中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面-西方向
景観資源	大井川上流
撮影条件	撮影日：平成 24 年 8 月 天候：晴れ 使用カメラ：CANON EOS Kiss Digital X レンズ焦点距離：21.9mm 35mm フィルム換算焦点距離：35mm
予測結果	<p>本眺望景観は、中ノ宿吊橋から西方向を眺望しており、大井川上流及び山林の斜面の樹木等を視認できる。</p> <p>完成後は、発生土置き場が近景として視認されるものの、圧迫感やスカイラインの切断はない。また、のり面等の緑化を行うことで、周囲の山林に溶け込んだ景観になると予測する。</p>

現況



完成後のイメージ



図 11-1-2(4) 眺望景観の変化の予測結果

表 11-1-1(5) 眺望景観の変化の予測結果

地点 05	登山ルート 中ノ宿吊橋～所ノ沢越方面-南方向
景観資源	大井川上流
撮影条件	撮影日：平成 24 年 8 月 天候：晴れ 使用カメラ：CANON EOS Kiss Digital X レンズ焦点距離：21.9mm 35mm フィルム換算焦点距離：35mm
予測結果	<p>本眺望景観は、中ノ宿吊橋から南方向を眺望しており、大井川上流及び山林の斜面の樹木等を視認できる。</p> <p>完成後は、発生土置き場が近景として視認されるものの、圧迫感やスカイラインの切断はない。また、のり面等の緑化を行うことで、周囲の山林に溶け込んだ景観になると予測する。</p>

現況



完成後のイメージ



図 11-1-2(5) 眺望景観の変化の予測結果

以上の予測結果から、発生土置き場による景観等への変化の程度はわずかであり、景観等の価値を大きく損なうものではなく、「本編 8-5-1 景観」に記載した環境保全措置に加え、のり面等の緑化を確実に実施することから、景観等に係る環境影響の回避又は低減が図られていると評価する。